

## 臨床血液学 II

1 単位 (必修) 2 年

### Haematology II

梅野 真由美・准教授 / 保健学科 検査技術科学専攻 形態系検査学講座, 安倍 正博・准教授 / 医学科 生体制御医学講座 生体情報内科学分野, 賀川 久美子・助教 / 病院

**【授業目的】** 主として出血性疾患の理解 (安倍, 賀川) と, 診断に必要な検査の意義や方法と疾患との関係を理解させる (梅野).

**【授業概要】** 血液学の基礎, 各種血液疾患の病態や検査値, 血液学的及び止血学的検査法の原理や技術, 臨床的意義などについて教授する. (オムニバス方式) (安倍・賀川): 血小板形態および止血・凝固機構, 出血性あるいは血栓性疾患について教授する. (梅野): 血液学的検査, 出血・血栓傾向の検査, さらに染色体検査について教授する.

**【キーワード】** [キーワード]

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** 『臨床血液学 I』 (0.5)

**【到達目標】** 血液の生理と病態, 各種血液疾患の病態や検査値, 血液学的および止血学的検査法の原理や技術, 臨床的意義などについて理解する.

**【授業計画】**

1. 巨核球・血小板の形態, 生産, 機能 (安倍)
2. 止血機構, 凝固・線溶系のしくみ (安倍)
3. 血小板および凝固・線溶因子の異常による疾患 (賀川)
4. 血管の異常および血栓性素因による疾患 (賀川)
5. 検体の採取と保存 (梅野)
6. 血球に関する検査① (梅野)
7. 血球に関する検査② (梅野)
8. 形態に関する検査① (梅野)
9. 形態に関する検査② (梅野)
10. 血小板に関する検査 (梅野)
11. 凝固・線溶系の検査 (梅野)
12. 凝固・線溶阻止因子の検査, 凝固・線溶系の分子マーカー (梅野)
13. 染色体の基礎 (梅野)
14. 染色体の検査法 (梅野)
15. 染色体異常 (梅野)
16. 試験

**【成績評価】** 安倍・賀川: 筆記試験で評価する. 100 点満点の 60 点以上を合格とする. 梅野: 毎日の小テストと定期試験の成績を合わせて評価し, 100 点満点の 60 点以上を合格とする. なお, 各教員の試験で合格することが必要である.

**【教科書】**

- ◇ 臨床検査学講座「血液検査学」: 奈良信雄 他著 (医歯薬出版)
- ◇ 血液細胞アトラス: 三輪史朗・渡辺陽之輔著 (文光堂)

**【参考書】** [参考資料]

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217775>

**【連絡先】**

⇒ 梅野 (088-633-9067, [umeno@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:umeno@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL

## Haematology II

1 unit (compulsory) 2nd-year

Mayumi Umeno · ASSOCIATE PROFESSOR / MORPHOLOGICAL LABORATORY SCIENCE, MAJOR IN LABORATORY SCIENCE, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Masahiro Abe · ASSOCIATE PROFESSOR / MEDICINE AND BIOREGULATORY SCIENCES, COURSE OF MOLECULAR MEDICINE, SCHOOL OF MEDICINE

Kumiko Kagawa · ASSISTANT PROFESSOR / UNIVERSITY HOSPITAL

**Target** 主として出血性疾患の理解(安倍, 賀川)と, 診断に必要な検査の意義や方法と疾患との関係を理解させる(梅野).

**Outline** 血液学の基礎, 各種血液疾患の病態や検査値, 血液学的及び止血学的検査法の原理や技術, 臨床的意義などについて教授する。(オムニバス方式)(安倍・賀川):血小板形態および止血・凝固機構, 出血性あるいは血栓性疾患について教授する。(梅野):血液学的検査, 出血・血栓傾向の検査, さらに染色体検査について教授する.

**Keyword** [キーワード]

**Fundamental Lecture** [先行科目]

**Relational Lecture** “Haematology I”(0.5)

**Goal** 血液の生理と病態, 各種血液疾患の病態や検査値, 血液学および止血学的検査法の原理や技術, 臨床的意義などについて理解する.

**Schedule**

1. 巨核球・血小板の形態, 生産, 機能(安倍)
2. 止血機構, 凝固・線溶系のしくみ(安倍)
3. 血小板および凝固・線溶因子の異常による疾患(賀川)
4. 血管の異常および血栓性素因による疾患(賀川)
5. 検体の採取と保存(梅野)
6. 血球に関する検査①(梅野)
7. 血球に関する検査②(梅野)
8. 形態に関する検査①(梅野)
9. 形態に関する検査②(梅野)
10. 血小板に関する検査(梅野)
11. 凝固・線溶系の検査(梅野)
12. 凝固・線溶阻止因子の検査, 凝固・線溶系の分子マーカー(梅野)
13. 染色体の基礎(梅野)
14. 染色体の検査法(梅野)
15. 染色体異常(梅野)
16. 試験

**Evaluation Criteria** 安倍・賀川:筆記試験で評価する. 100点満点の60点以上を合格とする. 梅野:毎日の小テストと定期試験の成績を合わせて評価し, 100点満点の60点以上を合格とする. なお, 各教員の試験で合格することが必要である.

**Textbook**

◇ 臨床検査学講座「血液検査学」:奈良信雄 他著(医歯薬出版)

◇ 血液細胞アトラス:三輪史朗・渡辺陽之輔著(文光堂)

**Reference** [参考資料]

**Contents** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217775>

**Contact**

⇒ Umeno (+81-88-633-9067, [umeno@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:umeno@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL